



南稜高校馬術部
全国大会に向けて
あさぎり町を表敬訪問

議会だより

あさぎり

No.46
H27.8.6 発行

あさぎり町議会

通年議会
第1・2回会議

一般会計補正予算

原案通り可決 2P

一般質問に11人が登壇 8～13P



上小学校5年生と
JA 青壮年部による田植え

当初予算へ肉付けふるさと寄付金600万円含む 1億3,565万3千円を追加

総額 97億4,242万4千円

第2回会議が、6月9日から7日間の日程で開催された。3月の当初予算が骨格予算(町長選挙のため)であった事から、今回、肉付けの補正予算として提案された。また、一般質問に11名が登壇したほか、条例改正、監査委員、教育委員、固定資産評価審査委員会委員の選任が提案され、いずれも原案通り可決された。同時に選挙管理委員会委員及び補充員の選挙も行い選任された。

審議内容の抜粋

**ふるさと寄付お礼品
330万**

問 ふるさと寄付金のお礼品の品として要望が多いものは。

企画財政課長 4月から始めたが、4月はイチゴ、その後はメロン関係が人気。今現在は、主に肉で対応中。年間通じて季節のものの要望が高い。

問 ふるさと寄付金は条例の見直しも含め、お返しについては一般財源からではなく寄付金の中から出すのが適当ではないか。

企画財政課長 基金とお礼は分けて対応。一般財源で特産品を贈ることにより、あさぎり町をPRしていきたい。

問 ふるさと寄付金については6月8日で487万円の寄付額となっている。今回の補正は600万円増の900万円。消極的な計画ではないか。魅力的な産品が並ぶ努力を。

企画財政課長 4月で260万円程度、5月が160万円程度、年間を通した見

通しがまだつかない状況。今後の推移を見ながらまた補正をお願いしたい。

修繕費 54万

問 旧岡原中学校の漏水については無駄のない配管修理を。

総務課長 漏水箇所は3箇所。費用対効果を考えて修繕で対応する。今後遊休施設での漏水がでた場面も基本は極力無駄のないよう対応すべき。

改修事業委託料 145・6万

問 森園カントリーパークの芝生面積の増設について、年間の維持費は増額されるのか。

教育課長 森園カントリーパークの新事業については、現在のクレーコートにティフトン芝の増設を行う。芝生管理については、現在より高額な計上となる。

住宅リフォーム等補助金 500万

平成26年度に消費税がUPしたことにより、申請件数がおちこんだ。

その刺激策として20万円から50万円に限度額を引き上げることとした。

菜の花プロジェクト 補助金20万

青年団が中心に鉄道を利用する高校生や地元の老人会、婦人会、



菜の花プロジェクト草刈作業

美化パートナーといったボランティア団体と共に、おかどめ幸福駅周辺の農道沿線の草刈りを行い、菜の花の種を蒔くことで、美しい景観創造と、観光客の集客を図る。

あさぎり中学校既存普通教室 棟屋根改修事業3170万

既存普通教室棟は建築後30年が経過しており、屋根防水の劣化が著しく、雨漏りが多数見受けられるので、屋根の改修を行う。

道路維持費の工事 請負費4,840万

各地区からの道路改良、舗装要望に対応するための工事請負費。

岡原小プール改修事業 1200万

既存プールが建築後数十年経過して漏水が発生しているので、プールを改修する。

人吉球磨日本遺産活用 協議会負担金50万

文化庁から4月24日に日本遺産に認定された。それに伴う人吉球磨日本遺産活用協議会の負担金。



ふるさと案内人養成

平成26年度 繰越明許費繰越計算書(抜粋)

一般会計

(単位：円)

事業名	翌年度繰越
庁舎改修事業	79,377,000
人口ビジョン・総合戦略策定事業(地方創生)	12,827,000
生活応援商品券事業(地方創生)	19,582,000
子育て応援商品券事業(地方創生)	8,450,000
経営体育成支援事業助成金	47,633,000
農業支援センター事業(地方創生)	4,943,000
おまけ付き商品券発行事業助成金(地方創生)	22,500,000
販路開拓強化事業(地方創生)	14,571,000
観光振興対策事業(地方創生)	6,870,000
結婚子育て支援事業(地方創生)	5,505,000
道路橋りょう費(道路維持、橋梁補修、道路改良・歩道整備事業)	62,284,300
給食センター設備修繕費	1,284,000
その他	3,668,166
合計	289,494,466

簡易水道事業特別会計

事業名	翌年度繰越
配水管布設替工事	7,692,000
合計	7,692,000

下水道事業特別会計

事業名	翌年度繰越
汚水管渠築造工事	65,624,656
合計	65,624,656

26年度
繰越明許費総額
2億8,949万4千円

※繰越明許費とは——
地方自治法第213条に規定され、予算が成立して事業を執行する中で、その年度内に事業が終了しない見込みとなった場合に、予算を翌年度に繰り越して執行することができるもの。

条例の制定及び改正・表決一覧 抜粋

第 1 回会議

議案第 1 号 あさぎり町公民館条例の一部を改正する条例

上西別府地区と下西別府地区の行政区の統合により、公民分館の名称及び位置を変更するため所要の改正をする。

新行政区として西別府が誕生。

議案第 2 号 あさぎり町役場本庁舎改修工事請負変更契約の締結について

工事内容の一部変更の為契約金額を変更する必要があるため。

変更前 125,820,000円

変更後 131,865,452円

変更による増額 6,045,452円

第 1 回会議 表決一覧 (抜粋)

議案名	議員名	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	奥田	田原	溝口	久保田
あさぎり町公民館条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町役場本庁舎改修工事請負変更契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第 2 回会議

議案第 3 ～ 4 号 あさぎり町介護保険条例の一部改正とあさぎり町鍼灸治療費の一部改正条例の制定について

保険料の減額賦課にかかる保険利用率を 32,940 円とすること。様式の変更に迅速に対応するため。

議案第 5 号 あさぎり町ビハ公園キャンプ場条例の一部を改正する条例の制定について

トレーラーハウスの老朽化による入れ替えに伴い施設利用料を改定するため。

議案第 6 号 球磨郡公立多良木病院企業団規約の一部変更について

一部事務組合の共同処理する事務の変更、訪問看護ステーションの設置及び管理運営を追加する。

第 2 回会議 表決一覧 (抜粋)

議案名	議員名	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	奥田	田原	溝口	久保田
あさぎり町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町鍼灸治療費支給条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町ビハ公園キャンプ場条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
球磨郡公立多良木病院企業団規約の一部変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算書(第 1 号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計補正予算書(第 1 号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業特別会計補正予算書(第 1 号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
簡易水道事業特別会計補正予算書(第 1 号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道事業特別会計補正予算書(第 1 号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上財産区特別会計補正予算書(第 1 号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全国正副議長研修会報告

議長 橋爪和彦

5月26・27日の全国町村議長・副議長研修会について簡略に報告します。

〔初日〕

帝京大学教授内貴滋氏は「地方自治の母国に負けない我が国の町村議会」と題した基調講演で、英国では地方も中央の流れを汲む政党支配。中央集権が強く自治体の権能は限定的で職員はパートタイマーが多い。住民監査請求・条例制定請求等の制度はない。議員は無報酬だが夜間議会で年数回本会議を開催し予算審議・税率決定等を行う。対して日本では、地方自治の範囲が広く、しかも最終決定権を持つ議会の権限は拡大している。議会バッシングに負けず頑張れとの趣旨でした。



白石関西大教授の講演の様子

その後のシンポジウムは、コーディネーター内貴先生、昨年度特別表彰を受けた全国5町議会の議長をパネラーに行われました。広報誌発刊・インターネット・インターネット又はCATVによる議会中継・議会基本条例

制定・議会報告会実施は各議会とも我が町と共通で議会報告会への参加者の少なさも共通の悩み。町長等の反論権付与・タブレット端末による会議運営・議会モニター制度の導入・議会白書の発行等の独自策については検討の必要ありと思慮いたしました。

〔二日目〕

白石真澄 関西大学教授の「日本の健康の鍵は農山漁村が握る」と題した講演の後、読売新聞編集委員 青山彰久氏の「試される地方自治、問われる首長と議会」と題した講演で、住民が法人格を放棄する決定をしない限り地方自治体は消滅しない。自信を持って国の提示する政策の質を見極めて地域現場に根ざした総合政策を作ることが肝要だ。

又、今回の地方創生では、国は地方自治体に地方版総合戦略他の作成を要請し、国が査定をし、達成度に応じて資金を分配する交付金の制度設計のシナリオを準備している。ここ20年間の地方分権改革は何だったのか。自治体は、「自ら調べ、自ら考え、自ら行動する」という原則を忘れてはならないと呼びかけられて研修会は終了しました。

第8回関西ふるさと会



議長 橋爪 和彦

5月31日大阪キャッスルホテルで開催された関西ふるさと会に出席してきました。町長が、パワーポイントで町の現況を紹介された後、企画財政課の高田参事がふるさと納税について説明しました。お返し制度の効果か、関心が高く希望が持てそうです。

会員の皆様の遠く離れた故郷への想いは強く、約90名の参加者は、みんな笑顔で2年ぶりの再会を喜ばれ、大変賑わいました。地元でも更なる会員増に向けた手伝いが出来ないかと考えています。

第11回中部ふるさと会



副議長 久保田 久男

第11回あさざり町中部ふるさと会の総会が、5月24日、名古屋市で開催され、愛甲町長、担当の高田参事と出席しました。私は、今回で3度目で顔馴染みの方も増え、終始和やかな雰囲気の中での総会、交流会でした。アトラクションでは、球磨弁で話そう!!ということで、最近では地元でもほとんど聞くこともなくなった球磨弁が飛び出し、会員の方々のふるさとへの想いを感じる一時でもありました。フィナーレでは、全員で「ふるさと」を合唱、中部の会員さん方との「きずな」をより強く感じ、感謝しながら帰路に着きました。



あさぎり町役場東庁舎売却等 の中止を求める請願の 審査特別委員会開催経緯 平成27年3月11日～7月2日

第1回特別委員会

平成27年3月11日午後2時～

- (1) 委員長・副委員長の選任
- (2) 請願書の紹介議員による趣旨説明。質疑応答
- (3) 今後の請願書の審査日程等について

次回、請願者を参考人として招致して行うことで一致する。

第2回特別委員会

平成27年3月19日午後1時半～

参考人招致 請願者6名中5名出席。傍聴者25名。

○ 請願者より趣旨説明
質疑応答

○ 指摘事項について分担して調査する。

○ 免田全区に再度説明会を行うよう執行部へ要請する。

○ ある程度の期間をかけて調査・審査を行う。

第3回特別委員会

平成27年4月10日午前11時～

請願書に関する調査の中間報告

- (1) 隣接町への聴取
- (2) 現東庁舎の変遷について
- (3) 体育館に戻すための改築費用
- (4) 東庁舎に改修した補助金の返還について
- (5) 東庁舎を防災センターにする案について
- (6) 合併協議の経緯について

第4回特別委員会

平成27年5月1日午後3時20分～

- (1) 今後の審査等日程について
- (2) ナビック社多良木工場の訪問調査について
- (3) 追加資料要求の件について

第5回特別委員会

- 平成27年5月18日午後1時半～
- ナビック社多良木工場現地調査委員会室にて
 - (1)追加資料の件について
 - 東庁舎を体育館に戻す場合
 - 不動産鑑定への報告
 - 貸付・売却等の事例
 - 補助金返還の件
 - (2)今後の日程について

第6回特別委員会

- 平成27年5月28日午前10時～
- (1)追加資料の件について
 - 東庁舎建屋の有償譲渡及び土地の賃貸借によるメリット・デメリットについて
 - (2)請願の審査
 - (3)トップ会議の開催について
 - (4)今後の日程について

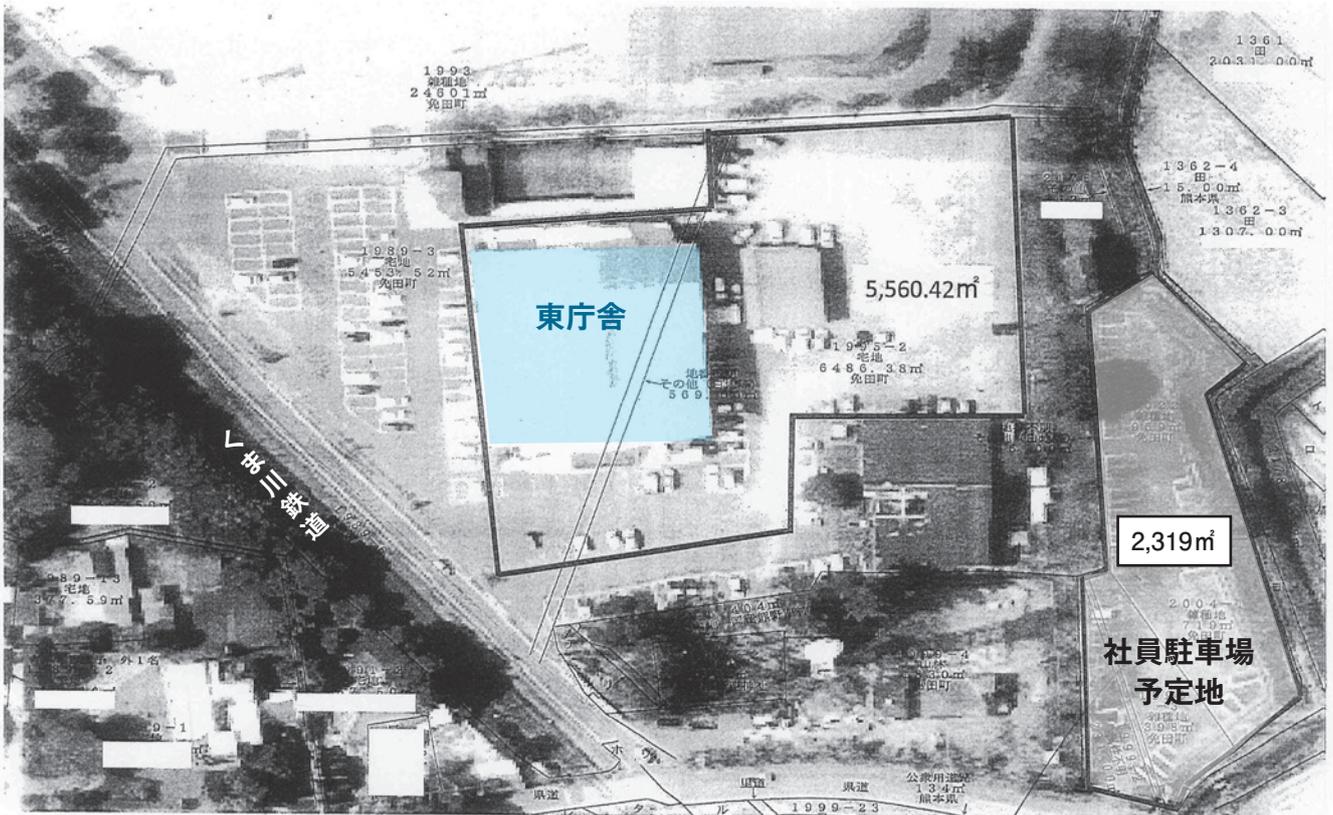
第7回特別委員会

- 平成27年6月5日午前10時～
- (1)追加資料の件について
 - 不動産鑑定評価・査定額の説明
 - (2)トップ会議報告
 - 町長・議長より報告
 - 平成27年6月4日午後4時～
 - 町長・議長・請願者代表・町づくりを考える町民の会代表
 - 質疑応答
 - (3)請願の審査

第8回特別委員会

- 平成27年7月2日午後3時～
- (1)追加資料の件について
 - 配布資料内容説明
 - 資料内容見直し、土地貸付料見直し
 - 北側会議室解体経費積算資料追加
 - 税関係の算出根拠
 - 建屋を貸付けする場合の可能性の検討

売却及び賃貸物件平面図（あさぎり町役場東庁舎及び駐車場）



11人が登壇

責任においてそのまま掲載とします。

問 改正される介護保険への取り組みは



森岡 勉 議員

森岡 介護保険制度が16年目を迎え、制度は定着しているが、保険料は倍額に増え続けている。今回の改正は、介護の軸足を病院や施設から住宅へ移行し、地域住民の自助・互助の活動の促進を今後、健康と福祉の町づくりをどう進めていくのか。

町長 厳しい場面を想定している。今後、町として現状をしっかり認識し自分の健康は自分で守ることを基本的スタンスとして、サービス体制の見直しや地域の環境作りが必要と考えている。

森岡 今回の改正で要支援者①・②の方々の地方自治体への移行は時期はいつを目的にしているのか。

福祉課長 現在、国の総合事業に取り組んでおり、今六期中に移行



今井サロン

していききたいと考えている。
森岡 具体的に特色的な取り組みは。

福祉課長 地区のリーダー等の地域資源を生かした地域サロンや、介護予防サポーター体制の充実を図る。

問 農地中間管理事業の現状と、球磨畜産農協への支援策は



永井 英治 議員

農業委員会事務局長 周知はしているが、この制度は26年度からの制度であり、まだ借り手に対して貸し手の希望が少ないのが現状である。現在、農地パトロール等で農地の利用状況調査を行い、遊休農地の地権者には、通知によりこの事業の周知をしている。農林振興課また農業支援センターとは、事務所も同じ所であり一緒に連携しながら取り組んでいる。

永井 県の畜産農協と合併しなかった、球磨畜産農協への今後の支援策は。

町長 町村それぞれへの支援ではなく、今後新しい組合長が決まった後で、管内の市町村長と一緒にになって検討していきたい。

◎その他の質問
JAくまとの連携、南稜高校との連携について。



耕作放棄地

永井 農地中間管理事業の現状と、この事業に対する、農林振興課と農業支援センターそれに農業委員会の連携は取れているのか。

一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する。

※一般質問の文章については、質問者の

問 地方創生事業への取り組みは



徳永 正道 議員

徳永 地方創生への取り組みは、あくまでも地域の知恵を借り、人口減少の歯止め・子育てしやすい環境づくり、若者達が希望を持って残れる町づくりが地方創生事業のキーワードと考える。その観点から町民の生活に密着したアイデア、意見等を吸い上げ町づくりを進めるには、町民主体の専門委員会の設置は考えられないか伺う。

町長 町がつくったものを審議してもらうだけでなく、つくり込むところに役場以外から入れないかという事については、国が言っている方向性からすれば、考え方は正しいと思うのでどのような形で出来るか検討してみたい。

徳永 県内のある市では、市内の経済労働団体、学生、住民等で構成して、多様な分野



少子化の歯止めと雇用創出に期待がかかる

での意見を集めて、独自の施策を提案したいとする所もあるが。

町長 一つの進め方としては有効に機能するかなと思う。町全体としての情勢についても有効な手段であるので、それぞれの担当課で揉んで、その中の課題に入れて進めていければと考える。

一般質問



加賀山 瑞津子 議員

加賀山 町長の所信表明はいわば、これからの町の理念（進むべき道標）である。進める中での具体的なキーワードは。

町長 町花「りゅうきんか」、日本に唯一の「幸福駅」、日本七大薬師「薬師さん」という町独自の資産を引き出し取り組んでいきたい。

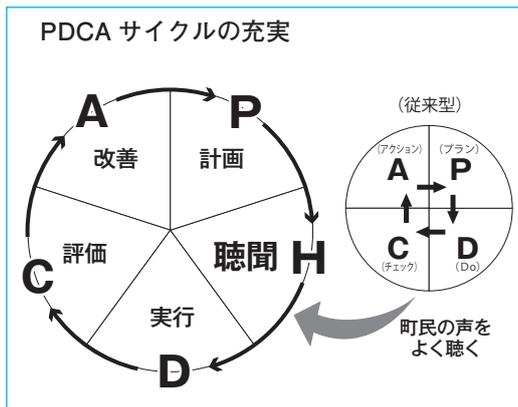
加賀山 幸福駅については、北海道の幸福町や一勝地駅など知名度の高い地域とのタイアップの考えは。

町長 北海道の幸福町との連携は取り組みの項目のひとつにあげたい。また、薬師さんサミットなども考えてみたい。

加賀山 今、町を見たときに欠けているのは町民の声を聴くこと。地方創生計画の立案は、職員も地域に向き町民の声をしっかり聴

問

PDCAにH(聴く)を入れたPHDCAでの町づくりは



いて進めるべきでは。

町長 基本的なところをある程度固めてスピーディーに計画を進めたい。どうまとめていくかイメージして取り組む。

加賀山 中学校での英語教育の充実を図るとあるが、幼児期での取り組みが重要。今後地域のNPO法人を含めた民間団体の活用を考えは。

教育長 まずは他町村より多い3人のALTを活用する。中学校では英語環境の改善、小学校でも英語に馴染むような環境を図ってきたい。

問

生きた「英語力」を発揮させるために 海外への研修等は



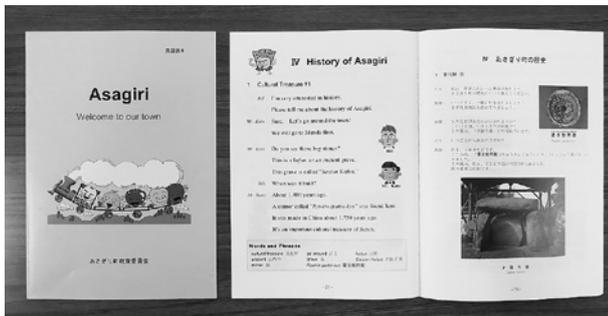
豊永 喜一 議員

豊永 合併後に残っている課題は山積みしているが、合併してから10年以上経っても、今まで住み慣れ親しんだ暮らしからの地元の住民感情は、急には変わらない。これらの解決には住民の理解と協力が絶対不可欠。10年後20年後、町を担っていく人材をどう育てていくのか。

町長 小・中学校の義務教育をしっかりとしたものにしていく必要がある。それを基本として、あさぎり町で子どもを育てたいと、そこまでする。そのためには、特徴ある学校、英語力の強化も進めたい。

豊永 生きた「英語力」を発揮させるために、海外への研修等は考えられないか。

町長 何でもそうだが、現場



英語力を高める副読本

体験は物凄く大事。行くことによって見えて来る世界が変わる。そのことで十分に短期間で得るものがある。今後英語教育を頑張る町としては検討していきたい。

◎その他の質問

「田園回帰」の動きを地方創生の施策に生かせないか。

問

行政と地域住民が協力する 「土曜塾」の導入は



山口 和幸 議員

山口 導入から10年以上が過ぎ、ようやく定着した感がある。完全学校週5日制が、新たな局面を迎えているが、あさぎり町の教育の基本目標にある「生きる力を育む」を重要教育として位置づけしてあり、基礎学力とたくましさ向上させる為に、行政と地域住民が協力して行う行政主導の「土曜塾」の導入は考えられないか。

教育長 地域住民の方と学校が一緒になった、地域づくり運営協議会を設置するようになっており、情報を共有しながら、地域の力（教職退職者等）を学校の教育活動に生かす為にそのような方向で進めたい。



6の2国語授業

人材育成の要綱づくり

山口 農業者の研修・商工業者の研修あるいは地域づくりのリーダー研修等、総体的にまとめた人材育成の要綱づくりはできないか。

町長 人材育成の要綱を含めて、年ごとに一定の規模の費用は確保している。事は、大事なことであると思っている。

問 職員が起こす不祥事の

抜本的解決策は

久保 3年の間に、下水道料の賦課漏れ問題を初めとして、幾つもの不祥事が発生してしまった。

町長 不祥事の後、仕事の標準化を進めてきた。各課の仕事を書式化し、事務手続の引き継ぎが上手くいくように取り組み、マニュアル化している段階にある。煩雑な処理も多いが、町民の皆様から信頼されるよう改善していきたい。

久保 伸びる組織は本当の意味での理念、その存在とその実践が、強い組織をつくり不祥事の発生を防いでいる。仮に不祥事が発生しても、経営トップ以下職員全員が、この理念に基づいて判断して行動することで社会的信用の早期回復をもたらす可能性が高くなる。

以前、松下イズムのような理念が必要で、「今一度やる気を引き出す仕



久保 尚人 議員

組みづくりを。原点に戻ってやりたい。」と答弁されているが。

町長 覚えている。今の職員が仕事に責任をもって自発的に行動する職員に成長する取り組みを、今後4年間にすべきだと思っていた。

共通の行動理念を持つことは大事だ。早い段階で取り組み、役場職員みんなでレベルの高い理念を作り上げ、実行していきたい。

クレド
リッツ・カールトン・ホテルは お客様への心のこもったおもてなしと 快適さを提供することを もっとも大切な使命とこころえています。
私たちは、お客様に心あたたまる、くつろいだ そして洗練された雰囲気 常にお楽しみいただくために 最高のパーソナル・サービスと施設を 提供することをお約束します。
リッツ・カールトンでお客様が経験されるもの、 それは、感覚を満たすこころよさ、 満ち足りた幸福感 そしてお客様が言葉にされない 願望やニーズをも先読みしておこたえする サービスの心です。

質問中に参考にあげたりリッツ・カールトンホテルではクレドと呼ばれるカードを携帯して「従業員満足とお客様満足の向上こそ利益をもたらす」という考え方を徹底している。

問 ごみがないすがすがしい町の推進は

橋本 ごみのポイ捨て防止や道路除草など、景観維持の具体的施策はどう考えているか。

建設課長 道路除草は、通学路・幹線道路を主に建設課作業員での除草及びシルバー人材センター、町内の建設業者などに除草委託を行い、環境整備に努めている。

地産地消の取り組みは

橋本 町の活性化の取り組みとして町内の農産物、加工品、医療、雑貨等、あざざり町の商店で購入し消費する活動が大事だと思いが、どの様に考えているか。

町長 自分達で作ったものが、自分達で評価して盛り上げる。これが大事なところ。

ボランティア活動推進は

橋本 ひとり暮らしの見守りや、介護・地域の美化活動、子育て支援、観光等のおもてなし、ボランティア活動の重要性が高まっている。

企業誘致は

橋本 今回の企業誘致について、議会を始め地元の説明不足が否めないが、どう考えるのか。

町長 大事なことは可能な限り説明していくことが、後々のためにも非常に大事なことで今は特に考えている。



町道の除草作業

問 介護保険制度改正における

「地域支援事業見直し」の対応は



小見田 和行 議員

小見田 制度改正により要支援の認定を受けた人が使う予防給付によるサービスが、今まで全国一律に実施されていたのが、今後は地域支援事業として市町村が独自に提供することとなった。高齢者を支えるためには、「自助」「互助」「共助」「公助」を組み合わせて活用することが必要である。自分で出来る事は自分でする「自助」、ボランティアや非営利団体による「互助」は今まで以上に促進することが望まれる。そのためには多様なサービスの担い手による支援体制の構築活用が必要であり、その根幹をなす住民意識の高揚と、現状の周知を図るべきと思う。取り組み実績はどうなっているか。



黒田サロン

行政区になっている。
小見田 地域全体で支え合う体制づくりをどの様に進めるつもりか。
町長 いつまでも無償の働きは無理と思うので、ボランティアポイント制度（ボランティアで御世話を行い、自分が逆の立場になった時世話してもらう）を作るべきと思っている。
小見田 地元で職に就きたい人への町独自の支援策は。
町長 公平性等の課題はあるが、年度内にひとつは具現化したい。

問 雇用拡大につながる優遇措置を講じるべきでは



溝口 峰男 議員

溝口 企業誘致にともなう旧東庁舎の売却代金は、町民のために使えないが、旧深田中体育館の売却代金はどうなるのか。
商工観光課長 補助金返還相当額を基金に積み立て、教育施設等の修繕改修等に使用することができると。
溝口 企業誘致や地場産業育成のため条例の見直しをして優遇措置を講じ、雇用拡大につなげるようにできないか。
町長 他の自治体の企業立地優遇措置の中で、あさぎり町にないものがある。何らかの優遇措置をこの機会に検討していく。
溝口 小規模支援法が公布された。どの様な対応をしていくのか。
商工観光課長 県も条例を策定し支援策をうち出しているので、町



活用が望まれる旧深田中グラウンド、体育館

としても商工会と連絡を密にして支援を行っていく。
溝口 販路拡大事業を補助金交付要綱に従い申請した場合はどの様な対応をするのか。
商工観光課長 申請主義となっているので、しっかりと対応していく。
◎その他の質問
地域農業再生協議会の職務について。

問 あさぎり町温泉施設の運営は



奥田 公人 議員

奥田 平成26年度先導的低碳素循環自然共生地域創出事業のうち、グリーンパートナーシップ事業が取り組まれてきたが、この都度結論が出され、厚生常任委員会に報告があった。その中で「あさぎり町が持つ木質バイオマス燃料の規模から考えると、木質バイオマスボイラーの導入が地元にとって最も適している。」とコメントされており、あさぎり町温泉施設にとっては、木質バイオマスボイラーの導入は、必要不可欠と確信した。あさぎり町においては、木質バイオマスボイラーへの更新が必要と思われるが、町としてはどのような検討がなされているのか伺う。



あさぎり町温泉施設(ヘルシーランド・温華乃遙)



てくるものと期待をしながら、町は検討している。
福祉課長 燃料費についての効果は十分にあるということは認識している。ただ機種の選定や設備投資費、ランニングコストの観点から、まだまだ検討しなければいけない。

第13回 くま川マラソン大会

《今回も全議員でおもてなし》

エリック・ワイナイナさん 再来町

皆さんからの
熱い
ラブコールを
受けて

ワイナイナさんの座右の銘は「Never giveup」(最後まであきらめない)

子ども達からご年配の方まで沢山のファンが生まれた大会から2年。ハーフコース(21.0975km)導入に併せて再度、ワイナイナさんがやってきます。

ケニアでも若手ランナーの育成にも力を入れて取り組んでおられますが、

**前日ワイナイナさんとの交流イベントを
計画中です。**(観覧自由)

※詳しくは後日、町の広報などでお知らせがあります。

🔍 ホームカミ動画 検索



ワイナイナさんの活躍が
ユーチューブ (You Tube)
でもご覧いただけます。

一部事務組合及び常任委員会報告

公立多良木病院企業団議会

6月3日に第3回臨時会が開かれ、企業長より常勤医2名の採用決定の報告があった。

医師不足については住民に心配をかけていただけに、ようやく安心して医療が受けられる体制になってくるものと安堵している。今後は収支の改善も進むものと期待している。

改選に伴い新たに多良木町5人、水上村2人の議員が選出された。

補正予算として建設改良費に産婦人科用超音波診断装置の購入費920万円が計上され原案どおり可決された。

人吉球磨広域行政組合議会

平成27年第2回人吉球磨広域行政組合議会臨時会が5月29日午後2時より人吉球磨グリーンプラザ大会議室に於いて開催された。

会議内容は、統一選挙初議会の為、選考委員会による指名推薦の方法で、

議長に五木村選出の田山淳士議員。副議長に人吉市選出の笹山欣悟議員が選任。議会運営委員、共同処理する事務に関する調査特別委員会の選任も行われた。職員派遣については、配布された計画の通りとし、一日で閉会した。

上球磨消防組合議会

平成27年6月5日開会、今春の地方統一選により、多良木町が山中議員、宇佐議員、水上村が小野議員が消防組合議員に就かれた。

副議長選挙においては、森山宏議員(湯前)、監査委員には小野頼年議員(水上)が選任された。報告第1号として消防救急デジタル無線整備事業、平成26年度繰越明許費の報告がされた。

建設経済常任委員会

4月30日、午前10時本庁舎白髪岳にて(1)下水道受益者分担金猶予問題について、(2)水道施設整備方針について、を議題とし協議した。担当課より詳しく説明を受けた後質疑応答をし、(1)については委員会として調書の通り進める事で承認する事とした。(2)については5月1日の議員懇談会にて全議員に説明がなされた。



老朽化による漏水が増えている配水管(免田地区)

総務文教常任委員会



29年度県民体育祭サッカー競技場に内定した森園カントリーパーク

5月28日、午後1時30分からあさぎり中学校グラウンドの排水対策について教育委員会担当者から説明を受け協議を行った。

〔委員会の意見〕

今後も現状の芝を生かし、施肥・薬剤散布・目土散布を行い、特に水たまりができる部分については、芝部分の不陸整圧を行い極力授業に支障がでないよう整備をすること。

森園カントリーパーク(岡原サッカー場)が29年度県民体育祭のサッカー競技場に内定したことから、サッカーコート改修について協議を行った。

厚生常任委員会

5月28日、町民課の総合窓口と子供医療費助成事業の現状、福祉課の温泉施設の再生可能エネルギー導入に関する調査の報告と、高山荘のボイラーの故障に係る報告を受けた。

総合窓口はスタートして間もないが、庁舎改修によりロビーも広く明るくなり町民にも好評であるが、まだまだ町民の利便性が向上する事を期待したいとの意見であった。

子供医療費助成事業は、昨年4月対



利便性の向上が期待される総合窓口

あさぎり町 監査委員



山本 司さん
(63歳)
あさぎり町免田東

あさぎり町議会
第2回会議で選任に同意した。

平成27年6月15日

あさぎり町 教育委員会委員



澤田 光徳さん
(60歳)
あさぎり町須恵

あさぎり町議会
第2回会議で任命に同意した。

平成27年6月15日

固定資産評価審査委員会

藤川 友行さん	あさぎり町上東 1369-4	新任
中野 慎一郎さん	あさぎり町免田東 4023	再任
永椎 浩二さん	あさぎり町岡原北 68	再任
佐藤 祐恵さん	あさぎり町須恵 4837	新任
田山 忠さん	あさぎり町深田東 2373	再任

あさぎり町議会第2回会議で選任に同意した。
平成27年6月15日

あさぎり町農業委員会委員

中村 陽子さん	あさぎり町上南
宮原 久子さん	あさぎり町岡原北
濱田 定武さん	あさぎり町深田西

あさぎり町議会第1回会議で推薦した。
平成27年4月10日

あさぎり町選挙管理委員会委員

鶴田 稔彦さん	あさぎり町上東
丸山 春美さん	あさぎり町岡原南
北川 一之さん	あさぎり町須恵
福永 喜一さん	あさぎり町深田東

あさぎり町議会第2回会議で当選された。
平成27年6月15日

象年齢を小学6年から中学3年に引き上げたが、現物給付を償還払いにしたからか、医療費は25年度より26年度が減額の見通しである。委員会としては、医療費の抑制効果には大いに評価する

との意見であった。
福祉課の温泉施設の再生可能エネルギー導入に関する調査の結果の報告は、町のそれぞれの温泉施設の方向性を示すものではない事を確認して調査

を終了した。
高山荘のボイラーの故障については、様々な団体が支障をきたしている事を鑑み、ボイラーの更新等早急に対応して頂きたいとの意見だった。

心と体の健康



上地区（塚ノ脇）
森川 宏さん

現在日本人口の65歳以上の高齢者は25%を超え医療費は約40兆円と言われ大きな社会問題になっています。

私の田舎の父は90歳で自動車の免許を返上するまで自動車の運転を行い、体調の良い時は風呂のマキを割ったり、草刈機を背負って草を刈ったり、母は畑仕事を行い二人で人様に迷惑を掛けないように過ごしています。

私達夫婦がその歳まで果たして健康で二人の力で生活が出来るだろうかと不安を感じます。

私が会社を退職後健康管理で心がけている事は運動と食事です。まず毎日、体重と血圧の測定をしてパソコンに記録します。運動の方は腕立て・腹筋・握力・脚力の強化（室内に固定の自転車・開脚器具の使用）毎日一時間かけて行っています。妻も時間は短いですが、退職後は一緒に運動を続けています。

一方、食事の方は妻が栄養関係の仕事だったこともあり、日々のメニューは栄養のバランスを考えて作ってくれる為健康管理上多いに役立っています。

また、現在はストレスの多い社会なので自然に親しみ近隣と接し晴耕雨読の精神で過ごしています。

何歳まで生きるかわかりませんがこの世にいる限り、人様に迷惑を掛けず生活するように心掛けたいものだと考えています。

子どもたちの夢、目標の実現に向けて



岡原地区（齊堂）
鶴本百合子さん

あさぎり町議会の中継時折拝見しております。議員の方々の日頃の活動に心より感謝申し上げます。

さて、人吉球磨が日本遺産に選ばれ、私たちが喜んでいるところです。是非、この人吉球磨の素晴らしい資産を地元の方々、子どもたちにも知ってもらいたいと思います。

また、2020年オリンピック、2019年ラグビーワールドカップに向け、教育の果たす役割は大きいのではないかと未来に思いを馳せています。子どもたちが、自分たちも参加したい、何かしたいと思えるような環境を作り、夢を広げる取り組みが必要だと思いました。

議員の方々のホームページや、フェイスブック等を拝見し、子どもたちの健全育成の為の様々な活動を有難いことと感じております。あさぎり町の小・中学生、高校生があさぎり町、また熊本に誇りを持つよう、また、確かな学力を付け、自らの夢、目標を実現できるよう、今後もお力添えを宜しくお願い申し上げます。

編集後記

田植えが済んだ風景を眺めていると、瑞穂とはみずみずしい稲穂のことであり、稲が多くとれることから『瑞穂の国』といい、日本の美称に使われることに納得。しかし日本人の食生活の変化から米離れは残念。健康づくりに最適と言われる日本食の見直しに期待しつつ、台風での被害もなく実りの秋を迎えたらと思っています。



今回、広報委員も新しくなりました。更に、読みやすい紙面づくりに取り組んでいきますので、宜しく願います。
橋本 誠

編集・発行責任者

議長 橋爪和彦

広報調査特別委員会

委員長 橋本誠
副委員長 皆越てる子
委員 久保田 久男
奥田 公人
森岡 勉
小出 高明



あさぎり町議会だよりはホームページでもご覧頂けます。

発行／あさぎり町議会 編集／議会広報調査特別委員会
〒868-0422 熊本県球磨郡あさぎり町上北1855番地
TEL(0966)47-0312・FAX(0966)47-0265
E-mail: syoki-gikai@town.asagiri.lg.jp 印刷：旬コーポレーション